



燦々と燃ゆる陽



本別高校HP QRコード

〒089-3308
中川郡本別町弥生町49番地の2
TEL 0156-22-2052
発行日：令和5年2月15日

【進路指導部】…《夢への挑戦》春期講習の申込〆切迫る！ 〆切：2月17日(金)まで

今年度から本校では授業及び進路講習において、**北海道遠隔授業配信センター（T-base）**からの配信授業や配信講習を行っています。本校の先生はもちろんですが、配信センターの先生についても進学指導の実績もあり、ポイントを絞った進学指導がなされています。また、他校にも同時配信しているため全道の高校生と切磋琢磨しながら、大学進学という同じ目標を持ちながら学べるところが特徴です。学びは自分との戦いでもあります。仲間と励ましあいながら行うことも効果的です。春休みは将来の夢を叶えるための時期と捉え取り組んでほしいと思います。大学進学を志望する生徒や将来の進路は未定だが学力より高めたい生徒の皆さんは、是非、受講してください。



【開講講座一覧】

実施日 令和5年3月27日(月)～29日(水)

時間帯 8:50～14:30(1教科50分、1日最大4講座受講が可能)

対象 大学進学を志望する者

教科 国語、英語(標準・発展)、数学(I・II標準・共通テストなど)

※詳細は令和5年2月3日付保護者あて文書「令和4年度春期講習について(ご案内)」をご覧ください。

【お知らせ】オーストラリア研修代替事業(国内英語研修:3月3日～5日実施)についての説明会(本別町教育委員会主催)

日時：令和5年2月27日(月) 19:00～20:00 **場所：**本別町体育館 2階中競技室

※後日、町教委より案内が配布されます。研修の申込をした2、3年生徒と保護者の皆さんの参加をお願いします。(問い合わせ先:町教育委員会)

【大学入試を考える】…大学共通テスト、総合選抜型入試・推薦型入試

1月14日(土)・15日(日)大学入試共通テストが実施されました。道内の出願者は前回と比較して、873人減、少子化や推薦などによる早めの入学者確保を狙った入試多様化により、共通テストの志願者数の減少が続いていると報道もありました。「大学共通テストを受けて、国公立大の個別試験に挑戦する。」という一般的な流れから変化があるようです。今年度(R5)の入試においては、共通テストを使わない総合型選抜(旧AO入試)を設けた国公立大学は全国で91校252学部となり、国公立大全体でも総合型と推薦型で入学した受験生は50%を超えています。思考力や判断力を重視する方向性で作問されている大学共通テストが難化しているとの指摘もある中で、総合型入試や推薦型入試の枠はさらに広がると予想されています。大学進学を目指す皆さんは、進学するための学力を着実に身に付けることは当然ですが、受験する際(10月～12月)は、総合選抜型入試や推薦型入試から挑戦していくとよいです。

【部・同好会活動：ボランティアクラブ】… 豆まかナイトのお手伝い

1月28日(土)、本別町民体育館で開催された『豆まかナイト』に、ボランティアクラブ5名でお手伝いに行ってきました。

このイベントは新型コロナウイルスの影響を受け、3年ぶり、念願の開催とのことでした。会場は多くの人で賑わっていました。

ボランティアクラブの生徒は、参加者への呼び込みをしたり、“お面ぬり絵コーナー”にてお手伝いをしました。鬼に扮した“元氣くん”のお面は子どもたちに人気で、思い思いに色を塗ってオリジナルのお面を作りを楽しんでいました。また、イベント終盤の“激!豆まき!”の際には、参加者に配布する豆を運ぶお手伝いもさせていただきました。休憩時間にはカレーやお餅を食べたり、会場内のアトラクションで楽しんだり、手伝いに行った生徒達も楽しませてもらいました。今後も校内だけではなく、どんどんと地域に出て活動していけたらと思います。



【探究活動:とち創生学における課題解決】… 動画を作成「本別高校の一日」

2年生総合的な探究の時間「とち創生学」で取り組んできた本別高校の紹介動画ができました。3班(本別高校を活気のある高校にする)と5班(本別町の人口減少を食い止めたい!)がコラボして、本別高校を紹介する動画を作成しました。学校ホームページに掲載しました。



● 3班 … テーマ「本別高校を活気のある高校にする」

メンバー 木南・橋本・守田・山川さん

【本別高校の一日】

《① 課題設定》 本別高校の生徒数が年々減少していることと、本別高校の生徒数を増やすことで、本別町も活性化するのではないかと考え活動を行ったので報告する。《② 現状分析》 生徒数の推移を調べたところ過去10年間だけでも半分以下になっていた。生徒数が増えれば町も活性化すると裏付けとして、島根県隠岐島前高校や島根県津和野高校など実際に高校が活性化することで町も活性化した例が挙げられる。《③ 仮説設定》 本別高校の生徒数減少について、私たちは魅力の宣伝不足だと考え、近隣の中学生に本別高校のホームページを見たことがあるかとのアンケートを取ったところ、88%が見ていないとのことだったので、仮説を本別高校の宣伝不足であると設定した。《④ 解決策》 本別高校のホームページを作り直し、宣伝していくこととSNSを活用して、PR動画を作製することとした。

● 5班 … テーマ「本別町の人口減少を食い止めたい!」

メンバー 伊藤・瀧澤・本寺・渡部

《① 課題設定》 本別町の人口減少が地域の課題として考えたので報告する。《② 現状分析》 本別町の人口の減少を分析した結果、町を出ていく人と町に来る人の差や、町の知名度が低いことが分かった。《③ 仮説設定》 本別町の求人を宣伝すると、人口減少は解決するのではないかとの仮説を設定し、HOTほんべつの求人サイトの閲覧数を増やそうとする考えに至った。《④ 解決策》 解決策として、HOTほんべつの閲覧数を増やすため、本別高校80周年記念の合唱をYouTubeに載せようと考えている。さらに、今後、定期的に行事の様子を更新していくことで、HOTほんべつの閲覧数を維持したいと考えている。